

平成28年9月28日

日本生命保険相互会社

ニッセイ インターネットアンケート

～9月：「将来への期待と不安」について～

日本生命保険相互会社(社長:筒井義信)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ(<http://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「将来への期待と不安」に関するアンケート調査を実施いたしました。

《調査概要》

- 調査期間：平成28年7月1日(金)～7月26日(火)
- 実施方法：インターネット(PC・携帯電話モバイルサイト)による回答
- 調査対象：「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューアンケートへの訪問者
- 回答者数：17,580名(男性:9,327名、女性:8,253名)

<年代別回答者数>

[名・%]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	525	1,250	2,558	2,718	1,674	602	9,327
女性	685	1,425	2,210	2,148	1,295	490	8,253
合計	1,210	2,675	4,768	4,866	2,969	1,092	17,580
占率	6.9	15.2	27.1	27.7	16.9	6.2	100.0

《調査結果のポイント》

ポイント①

質問2

- 約7割の方が「将来について、期待・楽しみがある」と回答
- 期待・楽しみの項目は「子ども・孫の成長(進学等含む)」が約4割で最も多いが、50代では「老後の生活(セカンドライフ)」を挙げた方がトップ

ポイント②

質問4

- 将来の期待・楽しみ、不安について話す相手は「配偶者」がトップ
ただし、男性は7割を占める回答割合も、女性は半数未満にとどまっている
- 約1割の方は、将来の不安について「相談する相手はいない」と回答

ポイント③

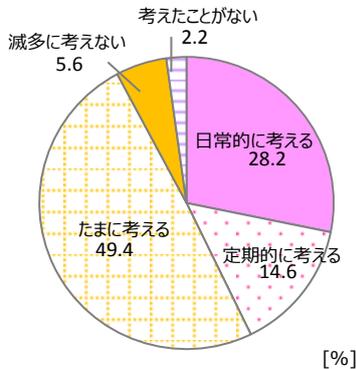
質問5～6

- 現在の状況について6割を超える方が満足と感じている
- 不満と感じている方の不満要素は「収入」が約半数を占め、「生きがい・やりがい」「仕事内容」と続く

質問1 将来について考えることはありますか？（回答者数：17,580名）

○「日常的に考える」と回答した約3割を含め、4割を超える方が将来について定期的に考えている。
 ○年代別に見ると、20代以下および70代以上で「滅多に考えない」「考えたことがない」と回答した割合が高くなっている。

■回答割合（全年代）



■年代別回答割合

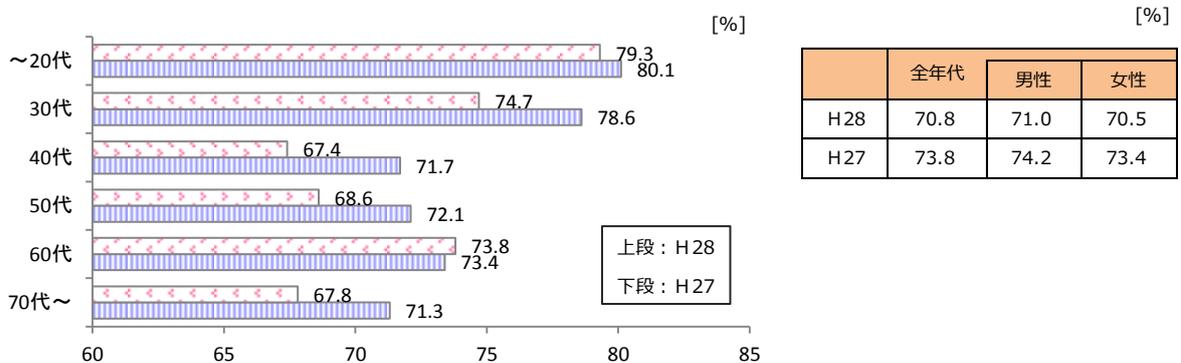


質問2 将来について、期待・楽しみはありますか？（回答者数：17,580名）

《「ある」と答えた方へ》期待・楽しみと感じている項目は？（複数回答可／回答者数：10,174名）

○昨年に続き、「期待・楽しみがある」と回答した割合が約7割を占めた。
 ○期待・楽しみと感じている項目は、昨年同様「子ども・孫の成長（進学等含む）」がトップ。「老後の生活（セカンドライフ）」が50代以上の支持を集め、昨年から大幅に回答割合が増加した。

■将来について、期待・楽しみが「ある」と回答した割合（左：年代別、右：男女別）



■期待・楽しみと感じている項目（年代別／複数回答可）

	H27 全年代	H28 全年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
子ども・孫の成長（進学等含む）	47.4	44.8	27.8	57.1	50.4	37.6	43.4	46.2
自身の自由時間（趣味等含む）	28.6	29.0	21.6	18.4	25.9	34.3	37.2	30.6
老後の生活（セカンドライフ）	20.8	26.3	3.8	9.2	23.3	40.3	35.0	22.4
家族と過ごす時間	19.8	18.5	16.9	25.5	20.8	16.1	14.7	15.5
自身の仕事（就職・転職含む）	12.5	13.5	32.8	20.8	14.4	9.9	6.5	4.2
自身・家族の健康	6.4	8.1	3.7	5.2	5.7	7.1	12.8	20.7
恋愛・結婚	6.1	5.4	34.5	10.6	3.3	1.1	0.1	0.8
家族の仕事（就職・転職含む）	2.4	2.6	1.3	2.3	3.4	3.3	1.4	1.4
日本経済・世界経済	0.9	0.9	0.7	0.8	1.0	0.7	0.8	1.7
その他	0.7	0.8	0.7	0.5	0.6	0.6	1.2	2.3

<ニッセイ基礎研究所 久我尚子 主任研究員のコメント>



将来について「日常的に考える」割合は、30～60代で高く、結婚・出産・子育て・退職など、ライフステージに大きな変化がある年代では将来を考える機会が多いようです。また、出産・子育て期の方が多い30代では、「定期的に考える」割合が他年代より高いことから、子どもの誕生や就学などは、定期的に将来を見つめ直すきっかけとなっているのでしょう。

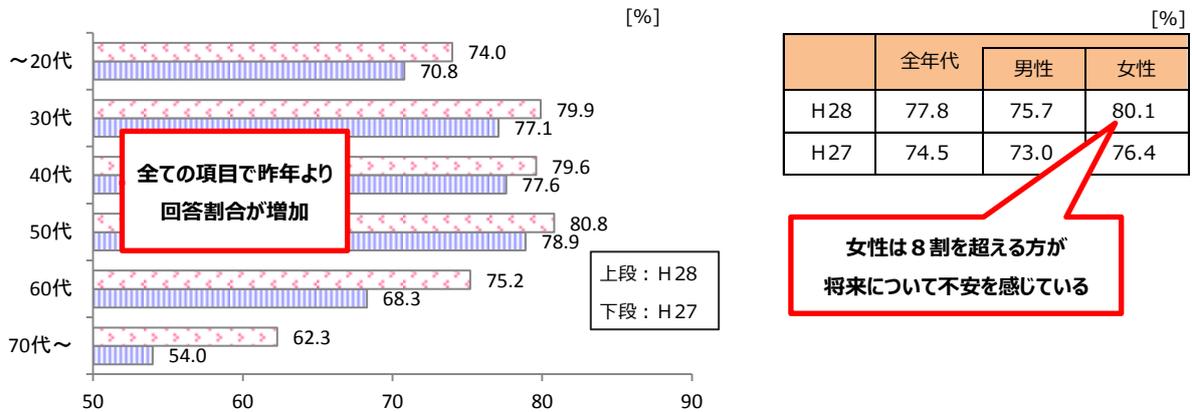
将来の期待・楽しみは、年齢とともに、恋愛や仕事など自分のことから、子どもや家族のことへと移っているようです。また、子育てが落ち着くと、老後の生活や自分の自由時間など、自分のことへの関心が戻るとともに、60代以上では孫の成長も加わるようです。

質問3 将来について、不安を感じていることはありますか？（回答者数：17,580名）

《「ある」と答えた方へ》不安と感じている項目は？（複数回答可／回答者数：9,607名）

- 「ある」と回答した割合は全体で77.8%となり、全年代で昨年の回答割合を上回った。
男女別に見ると、女性では8割を超える方が「ある」と回答している。
- 不安と感じている項目は、約4割の方が「自身の健康・病気・介護」「収入(年金・資産運用等含む)」を挙げた。特に「収入(年金・資産運用等含む)」は20～50代の回答割合が高くなっている。
- また、「自身の健康・病気・介護」は年代が上がるほど、不安を感じる方が増えている。
- 「自身の仕事(就職・転職含む)」については回答割合の男女差が大きくなっている。

■将来について、不安を感じていることが「ある」と回答した割合（左：年代別、右：男女別）



■不安と感じている項目（男女別・年代別／複数回答可）

	全年代	年代別						男女別	
		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	男性	女性
自身の健康・病気・介護	40.6	11.9	21.1	32.7	44.2	61.9	68.2	39.2	42.1
収入(年金・資産運用等含む)	36.3	37.4	39.8	38.9	41.9	26.8	17.2	37.1	35.5
家族の健康・病気・介護	28.4	11.7	18.7	26.7	29.1	40.2	36.7	25.2	31.8
自身の仕事(就職・転職含む)	22.1	51.8	38.2	26.7	18.5	5.0	2.8	27.5	16.2
子ども・孫の成長(進学等含む)	10.6	8.3	15.7	14.4	7.8	7.1	8.3	9.3	11.9
日本経済・世界経済	4.9	5.8	7.6	5.2	4.3	4.0	2.8	5.9	3.9
いざという時に頼る相手	4.4	2.8	3.6	4.2	4.9	4.8	4.6	3.3	5.6
家族の仕事(就職・転職含む)	3.4	2.8	4.2	3.4	4.0	2.8	1.4	2.3	4.6
ご先祖の供養・お墓等	2.8	0.8	1.2	2.3	2.8	4.6	5.0	2.7	2.8
恋愛・結婚	2.6	15.5	6.6	1.8	0.5	0.2	0.3	2.2	2.9
人間関係(職場・友人・近所等)	1.4	4.5	2.5	1.3	1.0	0.6	0.7	1.4	1.4
その他	0.6	1.0	0.4	0.6	0.4	0.7	0.9	0.5	0.7

質問4 将来の期待・楽しみについて話すとしたら、まず誰に話したいですか？（回答者数：12,225名）
将来の不安について相談するとしたら、まず誰に相談したいですか？（回答者数：13,397名）

- 期待・楽しみを話す相手、不安を相談する相手はともに昨年同様、「配偶者」が最も多い。
- また、約1割の方は将来の不安について「相談する相手はいない」と回答した。
- 男女別に見ると、男性の約7割が「配偶者」と回答したのに対し、女性は「配偶者」以外に、「友人」や同性の身内（「母親」「娘」）と回答する割合が高くなっている。

■男女別回答割合

	期待・楽しみを話す相手 [%]			
	H27 全年代	H28 全年代	男性	女性
配偶者	60.1	59.9	70.4	47.9
友人	9.9	10.2	6.9	14.0
娘	8.1	7.4	3.3	12.1
母親	6.7	6.0	3.1	9.3
息子	3.7	4.0	3.5	4.6
話す相手はいない	2.7	3.7	4.8	2.5
恋人	2.9	3.0	2.9	3.0
兄弟姉妹	2.6	2.4	1.3	3.7
その他	3.3	3.4	3.8	2.9

	不安を相談する相手 [%]			
	H27 全年代	H28 全年代	男性	女性
配偶者	56.2	55.3	65.0	44.9
相談する相手はいない	8.7	9.1	10.9	7.1
友人	8.9	9.0	6.2	12.3
母親	8.2	7.8	4.5	11.4
兄弟姉妹	5.4	5.2	2.8	7.7
娘	4.2	4.1	1.3	7.0
息子	2.3	2.5	1.7	3.4
恋人	2.0	2.1	2.0	2.2
その他	4.1	4.9	5.6	4.0

<ニッセイ基礎研究所 久我尚子 主任研究員のコメント>

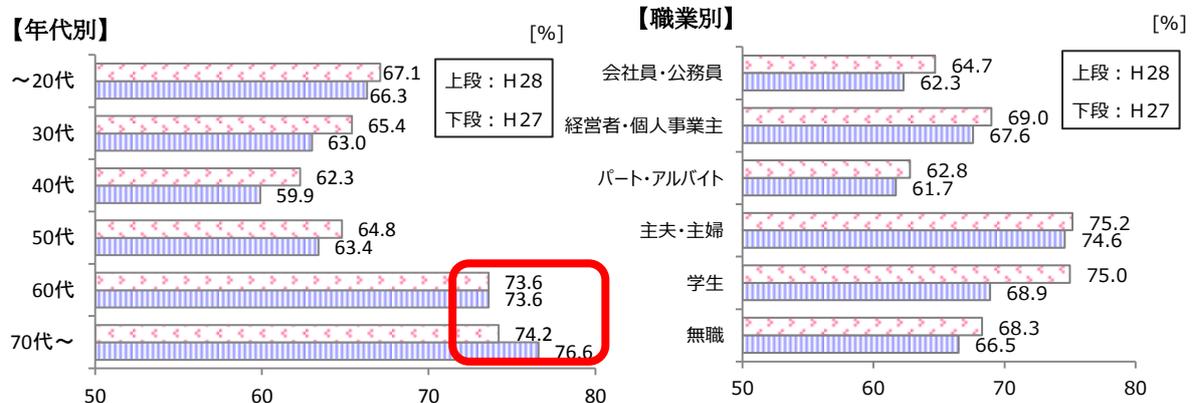
将来についての不安は全ての年代で昨年より強まっています。また、30～60代では、将来についての期待・楽しみがある割合よりも、不安がある割合の方が高くなっています。不安と感じている項目を見ると、特に、30～50代では収入への不安が強いようですが、この背景には、失業率の低下による雇用の拡大が見られながらも、当初のアベノミクスへの期待ほど実質所得が増えていないこと、また、昨年後半から株安・円高の動きも見え、景気の先行き不透明感も強まっていることがあげられます。

将来の不安を相談する相手がない割合は、特に男性で多く、男性では女性と比べて友人や家族への相談が少なくなっています。他の調査でも、このような性差が見られることは多いようですが、特に、高齢期では「高齢者の社会的孤立」にもつながりますので、注意が必要です。

質問5 現在の状況について、今の生活に満足していますか？（回答者数：17,580名）

- 「満足」「どちらかといえば満足」と答えた方の割合は66.4%と昨年を上回った。
- 年代別に見ると、昨年に続き、40代の回答割合が最も低くなっている。
- また、70代では昨年に比べて低下したものの、高齢層ほど「満足」と回答した方が多くなっている。
- 職業別に見ると、「パート・アルバイト」が最も低く、次いで「会社員・公務員」と続く。

■「満足」「どちらかといえば満足」と回答した方の割合



全体でも H27：64.8% ⇒ H28：66.4% にアップ

質問6 《質問5で「不満」「どちらかといえば不満」と回答された方へ》

現在の状況について、不満と感じる一番大きな要素は？（回答者数：2,154名）

- 昨年同様、全年代・男女を問わず、「収入」と回答した方が最も多く約半数を占めている。
- 年代別に見ると、若い層程「仕事内容」と回答する割合が高い一方で、「健康状態」「家族との関係」は年齢が上がるにつれて回答割合が高くなっている。
- また、20代では約2割が「生きがい・やりがい」と回答した。

■不満と感じる一番大きな要素（年代別・男女別）

[%]

	H27 全年代	H28 全年代	年代別						男女別	
			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	男性	女性
収入	48.0	47.1	43.9	48.0	49.9	47.2	44.8	29.9	45.8	48.8
生きがい・やりがい	11.8	13.5	18.2	14.5	14.9	12.9	8.1	10.4	15.4	11.2
仕事内容	9.7	8.6	12.8	10.5	9.9	8.1	3.5	0.0	10.4	6.5
健康状態	8.0	8.4	0.7	4.6	5.6	8.3	18.5	35.8	8.7	8.0
家族との関係	6.0	7.1	4.1	5.9	6.6	7.8	9.7	10.4	4.9	9.8
多忙	4.1	3.7	7.4	4.0	2.7	4.7	1.9	0.0	3.8	3.5
住環境	3.8	3.5	2.7	4.6	3.0	3.4	3.9	3.0	3.0	4.1
人間関係（家族以外）	4.7	3.0	6.8	2.7	3.2	3.0	1.5	1.5	2.9	3.2
単調な生活	2.4	2.6	2.7	3.5	1.7	2.6	4.2	1.5	3.1	2.0
勉強・自己研鑽	0.6	0.6	0.7	1.1	0.5	0.0	1.2	1.5	0.5	0.6
その他	0.9	1.9	0.0	0.6	2.0	2.0	2.7	6.0	1.5	2.3

<ニッセイ基礎研究所 久我尚子 主任研究員のコメント>

今の生活に満足しているかどうかについては、20代や60代以上、職業では主夫・主婦や学生などで満足度が高く、比較的自由時間の多い層では生活満足度が高い傾向があるようです。

今の生活に不満と回答した方は、70代以外では、いずれの年代でも、「収入」への不満が強いです。この背景には、5年前・10年前など長期的に見て収入は減少傾向にあり、最近では、P.4でも述べた通り、景気の先行き不透明感も加わっていることがあげられます。

また、不満と回答した方では、20～50代では「収入」のほか、「生きがい・やりがい」や「仕事内容」が高くなっていますが、年齢とともに低下し、50代以上では「健康状態」が飛躍的に上昇します。年齢とともに、収入や生きがい、仕事などを通した自己実現に関する不満から、健康面への不満へと移っていく様子が見えてきます。

以上